

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



ACG035-P03

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 09:00-10:45

海に開口する閉塞型汽水湖の水収支特性：北海道・生花苗沼 The water budget of a closed lagoon sporadically open to the sea: Lake Oikamanai, Hokkaido

岩坂 航^{1*}, 知北 和久², 和田 知之¹

Wataru Iwasaka^{1*}, Kazuhisa Chikita², Tomoyuki Wada¹

¹北海道大学大学院理学院, ²北海道大学大学院理学研究院

¹Grad. Sch. of Sci., Hokkaido Univ., ²Faculty of Science, Hokkaido Univ.

生花苗沼は、北海道の南東沿岸部にある閉塞型汽水湖群の一つである。この湖は、水位が砂州の頂部まで達すると砂州が決壊して湖水が海へ流出し、一時的に開放湖となる。湖水の排出後、湖水位は潮汐に従って変動し、この間、砂州には漂砂の堆積が行われ数日で再び閉塞される。沼や周辺の湿原には多くの水鳥や水生植物の群落が見られ、湖内では特産の大型シジミが棲息する。本研究の目的は、精密な湖盆図の作成をもとに海への開口前後における沼の水収支を評価することで、沼の水環境評価に対する一つの指標を作ることである。結果として、湖の開口時には96%以上の湖水が海へ流出することが分かった。また、閉塞期間においては、河川流入が沼の貯水量変化に大きく寄与することが分かった。今後の課題は、陸域から沼への地下水流入と沼から海への地下水流出を評価することである。

キーワード: 閉塞型汽水湖, 水収支, 融雪出水, 降雨出水, 開口頻度

Keywords: closed lagoon, water budget, snowmelt runoff, rainfall runoff, open frequency